

事業報告書

団体名	不登校ひきこもりを考える親の会鴻巣	交付額	66,934 円
事業名	「地域の力で。不登校の親子を孤立させない親の会」事業	内容	新規事業
＜実施内容＞ 父親を対象とした「お父さんの会」、「小学生の親の会」「中高生以上の親の会」を開きました。 「体育館遊びの会」は、「バルシューレ体験会」、季節の行事、人形劇などを企画し5回開催しました。 「合同学習会・交流会」は、地域の支援団体等との開催を予定していたが、支援団体等の参加が予定より多くなり、「交流会（不登校の子どもの居場所交流会）」と「学習会（古山明男さん講演会）」を別日に開催しました。			
＜成果＞ 「お父さんの会」では、長年わが子が不登校だった教員経験のある父親をアドバイザーとして招き、小学生～成人までの子の父親が参加しました。不登校のわが子について話合うのは初めてという父親ばかりだったが、だんだん打ち解け合い悩みや思いを共有する時間となりました。「小学生の親の会」ではアドバイザーとして現役の小学校、中学校の教員を招き、勉強や学校対応の悩み、不安についてアドバイスもらったり、参加者同士で経験談等を情報交換しました。「中高生以上の親の会」では、高校進路や通信制高校、県立高校等の情報交換、共有しました。参加者からわが子が通っている（通っていた）13校の高校の情報が集まるとともに、思春期ゆえの悩みや子ども、学校への対応等について情報共有しました。3つの会ともに予定していた3時間を超えて1時間以上延長する会となりました。すべての会において、参加者から「今後も開催してほしい」という要望がありました。 「体育館遊びの会」では、子ども達にマリオネット作りや季節の行事を盛り込んだ人形劇を楽しんでもらったり、バルシューレ体験会を開催することで、今までほとんど参加のなかった小学生や初参加の子どもが多く参加し、参加者が増えました。ボランティアは単発で来てくれる方もいましたが定着は難しい状況でした。しかし、開催回数を増やし内容も充実させたことで参加者が増え、常連となってくれた高校生や運動が得意な保護者が子ども達と遊んでくれたりして、参加者みんなで協力し合う一体感のある体育館あそびの会を開くことができました。 「不登校の子どもの居場所交流会」は、鴻巣市内のフリースクール・居場所等8カ所、近隣市のフリースクール・居場所等3カ所、鴻巣市教育委員会（教育支援センター）、こども応援課に参加いただき、活動紹介をしていただきました。不登校の子どもの保護者、支援者、学校関係者、市議等多くの地域の方が集まってくれて交流が深まりました。 「古山明男さん講演会」も、多くの保護者、支援者等が集まり、不登校の子どもの置かれている状況等（※）についてわかりやすいお話をお聞きしました。質疑応答の時間も多くなり、子どもへの理解を深めました。 （※）古山先生のお話より…不登校の子どもの心がフリーズした状態は、自律神経系の反応であること（ポリベヴェーガル理論）。決して怠けているとかでは無い。動物でも人間			

でも「逃げるもならず、闘うもならず」の状況に追い込まれると苦痛を最小限にするしかないという反応が起きてしまう。どんな説得も思いやりの言葉も攻撃としか受け取らない状態。じっくり暖めて解凍すれば回復する…等

集客方法	＜申請時＞ SNS の活用、施設や掲示板へのポスター掲示、広報掲載等	＜実際の取組＞ SNS の活用、施設や掲示板へのチラシ掲示、関係機関にチラシ配布。交流会と学習会は市教育委員会に後援をいただき、市内の全小中学校に教育委員会から開催チラシのメール配信がされた。交流会は広報かがやき掲載(11月号)。市内小中学校を訪ね、チラシ配布・説明と全家庭へのメール等による周知をお願いしに廻った。 事業参加者（集客）数：延べ大人209人、子ども66人（内訳以下） ●8／3お父さんの会 父4人（アドバイザー含む）、母10人、子ども7人（父のみ参加が抵抗ある父親がいたため、家族参加としたが、話し合いは父母分かれた） ●11／3小学生の親の会 アドバイザー2人、保護者9人 ●9／14中高生以上の親の会 保護者15人 ●体育館あそび ①6／15 『梅雨も体を動かして楽しもう！オリジナルマリオネット作りや人形劇を楽しもう』の会 子ども19人（小学生8人、未就学児1人、中学生3人、高校生以上7人）、大人11人 ②7／13 『マリオネット作りしたり自由に遊ぼう』の会 子ども12人（小学生6人、中学生2人、高校生以上4人）、大人10人 ③10／20 『体育館でハロウィン！』の会 子ども16人（小学生9人、中学生3人、高校生以上4人）、ボランティア2人、大人14人 ④12／8 『バルシューレ体験会①&クリスマス会&人形劇』 子ども12人（小学生5人、中学生3人、高校生以上4人）、大人15人（見学2人含む） ⑤3／20 『バルシューレ体験会②』 子ども14人（小学生7人、中学生3人、高校
-------------	--	--

		生以上4人)、ボランティア1人、大人9人 ●12/22『不登校の子どもの居場所交流会』 合計70人(保護者46人、支援者24人(民間居場所等12人、鴻巣市教育委員会3人、こども応援課3人、社協3人、市議3人) ●3/1『古山明男さん講演会』 合計49人(保護者42人、支援者7人(民間居場所等3人、学校関係者3人、市議1人)
会員を増やす取組	<申請時> 市民活動情報サイトの活用、SNSの活用、団体ホームページの作成、掲示板へのポスター掲示等	<実際の取組> SNSの活用、チラシ配布、掲示板へのチラシ掲示等 行事を通して交流・相談する中で、仲間の信頼関係が深まり、年度当初は会の運営メンバー会員は5人だったが、2人増えて7人となった。
<自由記載欄>		